

中学1年 社会科 I (地理的分野: 世界地理) 3単位

使用教材	『中学生の地理』(帝国書院) 『新編 中学校社会科地図』(帝国書院)
試験・評価・課題等	定期考査及び小テスト、白地図作業、レポートを総合的に評価する。

学習計画

期間	学習項目	指導上のポイント(レギュラークラス)	指導上のポイント(アドバンストクラス)
一学期	中間 世界の国々 地球儀と世界地図 世界の地形	<ul style="list-style-type: none"> 世界には面積の大小や人口の多寡、皮膚の色や言語・宗教の違いなど様々な国があることを認識する。 地図の見方や地球儀との違い、地球上に便宜的に引かれた緯線・経線などについて理解を深める。 時差の原理について理解を深める。 世界の大地形(安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯)をプレートテクトニクス理論とともに理解を深める。 河川や氷河などがつくりだす小地形について理解を深める。 	
	期末 世界の気候 アジアの国々	<ul style="list-style-type: none"> 気候について、ケッペンの気候区分に従い理解を深める。 自然環境と人間生活の関係性について考察する。 アジアの国々を地域別に、自然や歴史的背景、産業の特色、地域の抱える問題点などに焦点をあてて、掘り下げて考察する。 中国の改革開放政策への転換とその後の経済成長について考察する。 戦後の東南アジアの経済成長を産業構造の変化から考察する。 混迷を続ける中東情勢について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ケッペンの気候区分の記号表記を習得する。 日本企業のアジア進出の状況を調べ、日本とアジア諸国との関係について考察する。
二学期	中間 アフリカの国々 ヨーロッパの国々	<ul style="list-style-type: none"> アフリカの自然と歴史、産業について理解を深め、今日のアフリカ社会の問題(内戦、貧困)を考察する。 チョコレートをとおしてフェアトレードについて調べる。 ヨーロッパ全体の自然とEU結成に至る歴史について理解を深める。 ヨーロッパの主要な国をとりあげ、産業の特色や地域の課題について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> アフリカの抱える問題(貧困、飢餓、病気)などの現状や、アフリカで活動する日本のNGOの活動を調べ、プレゼンテーションを行う。

	期末	ヨーロッパの国々 (続き) 北アメリカの国々	ヨーロッパの国々の中で、8カ国を取り上げ、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカの自然について理解を深める。 ・アングロアメリカ（カナダ、アメリカ）の独立と発展の歴史的経緯について理解を深める。 ・アメリカ合衆国の社会や産業について考察する。 	
三学期	期末	南アメリカの国々 オセアニアの国々 世界の国の調べ学習	南アメリカの自然について理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロンブス以降の歴史と社会について理解を深める。 ・ラテンアメリカの国々の産業の特色や地域の課題について考察する。 <ul style="list-style-type: none"> ・オセアニアの地理的概念（ミクロネシア、メラネシア、ポリネシア）について理解を深める。 ・オーストラリア、ニュージーランドの自然と産業の特徴について理解を深め、日本との関係について考察する。 ・世界の国々から授業で習った国について調べ、プレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アマゾンの開発と環境破壊の現状について調べる。 ・地球温暖化に伴う海面上昇の現状をオセアニアの島々を例としてとりあげ考察する。

中学1年 社会科Ⅱ（地理的分野：日本地理） 1単位

使用教材	『中学生の地理』（帝国書院） 『新編 中学校社会科地図』（帝国書院）
試験・評価・課題等	定期考査及び白地図作業、プレゼンテーションなどを総合的に評価する。

学習計画

期間	学習項目	指導上のポイント(レギュラークラス)	指導上のポイント(アドバンストクラス)
一学期	中間 日本の概略 ～自然編	<ul style="list-style-type: none"> 日本の範囲について、領土・領海・領空、排他的経済水域を含めて理解を深める。 都道府県名とその位置について白地図作業をとおして把握する。 日本の自然環境について白地図の作業を通して把握する。 	左に同じ
	期末 今後の課題の解決策を探る その1	<ul style="list-style-type: none"> 中間試験までに学んだ事柄をもとに、自然災害の問題や領土問題など山積する今後の問題についてグループで調べ学習を通じてその解決策を模索し、プレゼンテーションを行う。 	左に同じ
二学期	中間 日本の概略 ～産業・国内状況編	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業、工業、商業など日本の産業を白地図の作業などを通じて概観するとともに、エネルギー問題や人口問題など日本の置かれた現状を把握する。 	左に同じ
	期末 今後の課題の解決策を探る その2	<ul style="list-style-type: none"> 日本のエネルギー問題や日本の人口問題に関して、これまでの学習内容を踏まえ、グループでの調べ学習を通じてその解決策を模索し、プレゼンテーションを行う。 	左に同じ
三学期	期末 地方創生とその方策を探る	<ul style="list-style-type: none"> 中学3年生でお世話になる糸魚川を取り上げ、その現状把握と問題点を探る。 糸魚川をモデルに地方創生の道を探る。これまでの学習内容を踏まえ、グループでの調べ学習を通じてその解決策を模索し、プレゼンテーションを行う。 	左に同じ